



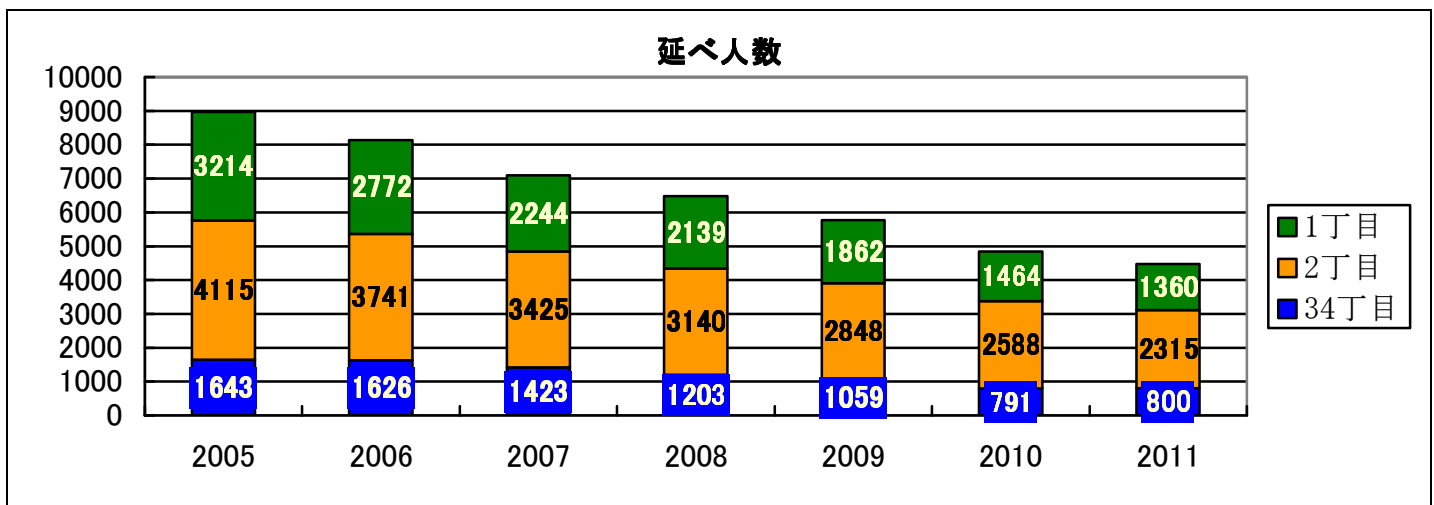
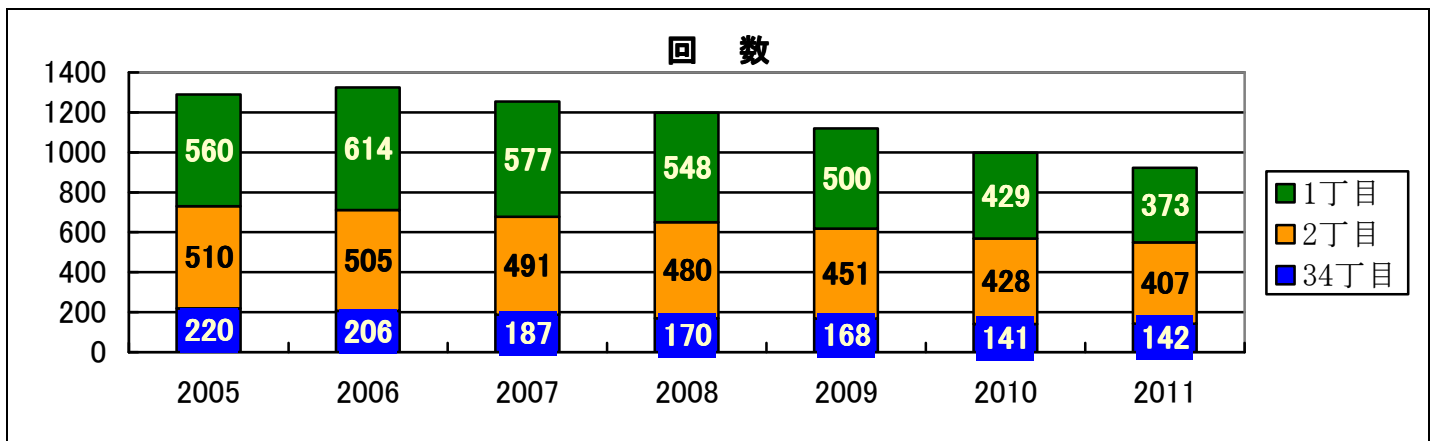
## ☆防犯パトロール隊活動実績 (安全対策部)

2005年4月にスタートした防犯パトロールも結成以来8年目を迎えました。  
 その間小川地域の犯罪は大幅に減少し。安全・安心の街づくりに多大の貢献をしました。  
 2009年11月から活動開始した青パト隊との相乗効果で更に犯罪が減少しています。  
 全国的にも町田市小川自治会の防犯体制は有名になりました。

**7年間の総パトロール回数：8,107回、総参加延べ人数：45,771人** (期間は4月～3月)

年 度	回 数				延 人 数			
	1丁目	2丁目	34丁目	合計	1丁目	2丁目	34丁目	合計
2005	560	510	220	1,290	3,214	4,115	1,643	8,972
2006	614	505	206	1,325	2,771	3,741	1,626	8,138
2007	577	491	187	1,255	2,244	3,425	1,423	7,092
2008	548	480	170	1,198	2,139	3,140	1,203	6,482
2009	500	451	168	1,119	1,862	2,848	1,059	5,769
2010	429	428	141	998	1,464	2,588	791	4,843
<b>2011</b>	<b>373</b>	<b>407</b>	<b>142</b>	<b>922</b>	<b>1,360</b>	<b>2,315</b>	<b>800</b>	<b>4,375</b>
合 計	3,601	3,272	1,234	8,107	15,054	22,172	8,545	45,771
月平均	42.9	39.0	14.7	96.5	179.2	264.0	101.7	544.9

隊員がピーク時より半減。新しい方の参加歓迎



小川自治会内での侵入窃盗発生件数 (町田市配信情報)

(1月～12月)

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
実害	—	10	7	6	2	6	1	2
未遂・会員外	—	6	3	2	2	5	1	2
合計		<b>17</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>4</b>

☆防犯情報 (安全対策部) —— 第1四半期の町田市内犯罪発生状況 (12/27~4/01)

( ) 内は昨年同時期	町田市	南地区	小川	自治会内
侵入窃盗	57 (60)	15 (24)	0 (3)	0 (2)
ひったくり	20 (14)	9 (3)	1 (2)	1 (0)
車上狙い	14 (38)	7 (17)	2 (1)	1 (0)
振り込め詐欺	11 (8)	—	—	—

□南地区発生場所 町田市役所配信情報より

侵入窃盗 15 : 成瀬 x 5、高ヶ坂 x 3、金森 x 2、つくし野 x 2、南つくし野 x 2、成瀬が丘

ひったくり 9 : つくし野 x 3、南成瀬 x 2、金森 x 2、高ヶ坂、**小川2丁目**

車上狙い 7 : 鶴間 x 2、金森 x 2、成瀬台、小川2 (自治会外)、**小川1丁目**

□振り込め詐欺の電話が毎日のようにかかってきます。

★町田市内でも毎週複数の被害が発生しています。

★「電話番号が変わった」「カードを預かる」「必ずもうかる」は詐欺です。

★在宅時でも留守電にしておけば被害が防げます。電話の声だけでは見抜けません。

☆1~3月の資源回収実績 (環境部)

単位 = t	1丁目	2丁目	3・4丁目	合計
1-3月合計	20.3	17.2	11.6	49.1
昨年1-3月	19.0	19.1	15.3	53.4

全体に回収量が減少しています。

まだ自治会ではなく、市の回収に出ている資源が多数見受けられます。

自治会の回収にご協力ください。

☆会員情報 (敬称略) (総務部)

△入会	第5支部	1班	新井 真樹 様	4月
	第6支部	1班	中村 壮一 様	4月
	第7支部	1班	近藤 広行 様	4月
	第11支部	5班	矢久保 順也 様	4月
▼退会	第3支部	4班	伊東 寛 様	12月
	第5支部	1班	白藤 裕史 様	12月
	第2支部	5班	市川 はるみ様	3月
	第2支部	5班	松本 重明 様	3月
	第2支部	5班	落合 明 様	3月
	第2支部	5班	鎌倉 雅利 様	3月
	第2支部	8班	吉原 掬夫 様	3月
	第2支部	10班	田渕 博之 様	3月
	第7支部	4班	船山 勝矢 様	3月
	第9支部	7班	山内 康嗣 様	3月

□訂正 前号の自治会だよりで第3支部4班の内海 大作 様を誤って退会と記載しました。内海様は退会ではありませんので、お詫びして訂正します。

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

田上 ふじ 様 (享年88歳) 小川2-15-21 3月ご逝去

# 定期総会特集

平成24年度 定期総会を4月15日(日)10:00～ 小川小学校 体育館で開催しました。

・会員数：1,222 (過半数=612)  
・出席者：131  
委任状：788  
合計：909

- ・過半数を上回り総会は成立
- ・議長：齋藤 正敏さん(1丁目)
- 書記：遠山 明子さん(1丁目)
- ・司会：新井 副会長
- ・所要時間：約 1.5時間
- ・議事に先立ち長谷川会長の挨拶と来賓を代表し田中町田市議会議長のご挨拶

## 議 事

### 1.平成23年度事業報告 (長谷川会長及び各専門部長) (内容は配付済総会議案書参照)

23年度の活動全般の総括、および各専門部の活動報告

①防災・減災に対応する小川自治会独自の本格的自主防災体制の確立を目指す事を最重点活動とした。そのために【防災体制検討会議】を設立し、役員以外の民生委員や一般会員の方の参加を得、6回の会議を重ねた結果、次の結論を得た。

- ・防災マップと自治会独自の防災マニュアルを年度内に完成、全会員に配布
- ・原則会員全員参加の自主防災隊の原案作成—24年度より発足予定

防災以外の主な活動では小川自治会の名を対外的に高める顕著な活動があった。

②永年に亘り地道で熱心なパトロール活動や一昨年採用した青パトの活動による防犯の成果で、全国レベルでの防犯表彰を授与した。

一方パトロール隊員の減少が顕著で、新しい方の参加を強く要請する。

③懸案であった自治会ホームページを4月に開設し、内外に好評である。

④行事他各種イベントに役員以外の参加者が増加し“連帯感のある街づくり”が徐々にではあるが進みつつある。

各専門部の活動については総会議案書参照

### 2.平成23年度決算報告 (大坪会計) (科目別詳細は配付済総会議案書参照)

収入は個々の科目では予算に対し若干の差はあるが全体では予算463万円に対し約1万8千円上回る収入がありほぼ予算通りであった。

支出は防災関係で当初予算外の支出増3件があり約62万円を追加支出。

①東日本大震災の災害義援金に予備費より20万円支出。

防災対策の強化のため通常の備蓄品の補充のほか

②小川自治会独自の「防災マップ」と「防災マニュアル」を作成 約37万円

近々全会員に配布予定

③避難用の軽量折りたたみリヤカーを購入 約5万円

行事費、安全対策費、渉外費などで支出を抑制したにもかかわらず、今期収支として約33万円の収支差損が発生した。

資産としては今期収支差額マイナス約33万円を反映して、平成24年度への繰越金が約217万円となり災害積立金500万円と併せて総額約717万円が当自治会の資産となる。

### 3. 監査報告（遠山会計監査）

収支の相違は無い旨報告

#### 1. 2. 3 に関し異議は無く承認

### 4. 役員改選（役員選考委員会委員長長谷川会長）（自治会だよりトップページ参照）

#### 4 に関し原案通り承認

### 5. 平成24年度事業計画案（長谷川会長）（詳細は配付済総会議案書参照）

“安全・安心・連帯感のある街づくり”を基本方針に、各種活動計画および施策を説明。  
本年度は昨年度に続き、防災について再重点活動とする。早期に組織体制を固め、秋の防災訓練実施時までに固有名詞を含めた「小川自治会自主防災隊」を確立する。

自主防災隊の設立までは【防災体制検討会議】を準備組織として継続し

- ・配布する防災マップ、防災マニュアルの啓蒙
- ・自主防災隊参加のための会員アンケートの実施
- ・防災備蓄品の見直しと災害積立金の使用用途検討などを行う。

防災対策以外では次のような事項の検討を行う

- ・防犯体制の更なる強化：パトロール隊増員の方策検討
- ・支部・班の再編成：規模のバランスの見直し
- ・自治会会計の収支バランスの見直し、特に支出面

役員以外の多くの方の参加を求め、老・壮・青のコラボレーションによる、連帯感のある自治会活動を心がけ、高齢者とお子様の暮らしやすい街づくりを目指す。

### 6. 平成24年度予算案（大坪会計）（科目別詳細は配付済総会議案書参照）

①収入の減少：会員数減少、簡保加入者の減少、資源回収数量の減少により前年予算対比で13万円程度の減収が見込まれる。

②支出の増加：

②－①会議費：総会議案書の印刷製本の外注。3年前まで外注で約12万円かかっていたが一昨年より内製に切り替え経費削減を図った。しかし莫大な手間がかかり本部役員も減少し内製は不可能になったため外注に戻す（プラス12万円）

②－②防災対策費：従来の備蓄品購入に加え災害時緊急連絡用トランシーバー6セット購入（プラス10万円）

②－③備品費

1. 防災備蓄品などが増え小川会館前と蜂谷戸公園の倉庫が足の踏み場もないほど満杯になり、会館裏に資材倉庫を増設する（10万円）
2. テントが古くてカビが生え、食料を扱う行事には使用できないものがあり毎年1張ずつ買換える。本年度は大1張（20万円）
3. 掲示板の腐ってぶよぶよの物が数か所あり貼り替える（10万円）

収入が前年対比13万円減の450万円、支出が若干の微調整も含め前年対比で60万5千円の増の513万5千円となり、当期差益がマイナス63万5千円となる。

その結果予備費が昨年度の収支差損と本年度の収入減・支出増を反映して約100万円減となり約150万円となる

なお本年度の課題として収支バランスの見直し、主に支出の削減を検討する。

#### 5, 6 に関し次ページ記載の質問と提案があったが原案通り承認

以上

## 質疑応答

### Q 1、 第5支部長 中島様

災害対策費の予算はこの2年間、変わっていない。災害積み立て金の元手は減少が見込まれるが、この先どうするのか。そこで提案する。紙資源回収の収入の自治会の取り分、3分の1の収入を、見直せないか？

### A、 長谷川会長

確かに紙資源回収の収入は広く会員の公益に還元すべきで、特定の団体のために使うのは良くない。しかし、回収開始の時の(子供会、熟社会、自治会の中の)取り決めがあり、自治会の一存では変えられない。慣例に従って、今年の予算では、去年の取り分と同じにした。相手のあることなので簡単には変えられず、変更するなら来年以降になる。今後、子供会、熟社会と話し合いの機会を持ちたい。

### Q 2、 8支部6班 遠藤様

- ① 会長の基本方針説明の中に「安全、安心の、連携感のある・・・」とあったが、「連携感」という言葉に引っかかる。
- ② 防災備蓄品は会員全員の必要を賄えないという説明があったが、自治会は何を、何のために備蓄しているのか？ 備蓄品を誰に優先して渡すのか。水や食料を持っていない会員か、他地域から避難してきた人なのか。

### A、 長谷川会長

- ① 「連帯感」の間違いです。
- ② 全員のための水や食料は普段しまっておく場所がない。自治会で用意した水・食糧はわずかなもので、乳児のいる家でミルクを溶かすなど、緊急性の高い場合にのみ分ける。自治会は公共性の強いもの、リヤカー、簡易トイレ、車椅子などを備蓄する。今後はトランシーバーの購入などを考えている。各戸では用意できないもの、共同で使う備蓄品を充実していくつもりだ。

### Q 3、 7支部3班 小林様

- ① 自治会に500万円のお金があるときいた。本当？どこにあるのか？何に使うお金か？
- ② 予算の中の備品費40万円は、何を想定したものか？

### A、 長谷川会長

- ① 小川自治会は創立から40年経った。その間、会費収入を少しずつ貯めていってできた貯金だ。初めは小川会館の修築のため毎年の繰越金を積みたてていったのだが、その後会館管理費はそれほど多くは必要なくなり、新たな使い道を考えたときに防災対策にあてることにした。まだ具体的な使い方は決めていないが、被災した家庭の見舞金にするなどと考えている。
- ② 具体的には防災費。金額が大きく、防災対策部の予算だけでは賄えないもの。例えば防災倉庫。かえで公園にまだ小川自治会の防災倉庫が置いていない。またテントを買うことを考えている。

### A 2、 遠山会計監査の補足説明

500万円については議案書4ページの「資産の部」を参照。表の中の「スーパー定期預金(5年)」というのがそうです。

### Q 4、 第5支部 大平様

簡保繰入金収入はどんどん減っている。紙資源収入も少しずつ減っていくのではないか。そこで提案する。

- ① 予算の中の公共費、渉外費の見直し。例えば学校関係の祝い金の出費はほとんどなくなっている。
- ② 先ほどの中島さんの意見同様、紙資源回収の収入を、「防災対策費を拡充する」という名目で分配方法を考慮しなおしてもらいたい。
- ③ 先ほどの会長答弁の防災積立金について。災害時には思わぬ出費があるもので、十分に持っているに越したことはない。私が一般に聞いた話では「1世帯につき1万円程度」規模の資金を想定せよという。500万円ではまだ少ないと思う。

以上